

議 会 広 報 特 別 委 員 会

日 時	令和 7年 3月 6日（木） 開会中	10時10分 開会 10時27分 閉会
場 所	相良庁舎 4階 第3会議室	
出席議員	（委員長） 8番 種茂和男 （副委員長） 3番 絹村智昭	
	7番 松下定弘	6番 木村正利
	2番 谷口恵世	1番 石山和生
欠席議員		
法第105条出席		
事務局	書記 中田 綾 書記 八木裕介	
説明員		

署名 _____ 議会広報特別委員長

開会の宣告

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ちょっと時間は早いですが、牧之原市議会「かけはし」第78号について、打合せをしたいと思います。

2 事件 （1） 牧之原市議会だより「かけはし」第78号について

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

最初に事務局のほうから説明をお願いします。

○事務局書記（八木裕介君）

では事務局のほうから、編集スケジュールについてご説明をさせていただきますので、議会広報特別委員会フォルダの3月6日の中に入っている編集スケジュール第78号をご覧ください。

今回の第78号のスケジュールなのですが、1回目、3月6日、今日第1回広報特別委員会を行いまして、編集スケジュールの決定と、ページ構成の検討をさせていただきます。

2回目なのですが、3月25日、本会議最終日の後に、第2回広報特別委員会ということで、ページ構成の最終決定をさせていただきます。

お日にち飛びまして、4月7日、月曜日に議運の後に第3回広報特別委員会を行いまして、ワード原稿の編集をさせていただきます。

その後、4月15日の文教厚生委員会協議会の後に第4回広報特別委員会を開催させていただきます、ゲラ校正の1回目とワード校正になります。

最後、5回目なのですが、4月25日に第5回広報特別委員会を開催しまして、ゲラの校正と、あとワード原稿の校正になります。

その後なのですが、5月7日に正副委員長に最終確認いただきまして、5月13日納品、5月15日発行日ということになります。

また、委員長のほうで、委員の皆さんの予定を協議いただければと思います。

○（木村正利君）

すみません、私のほうが、前から言ったとおり、23日から29日まで出張を入れてあったものですから、これ海外出張で。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

どこですか。

○（木村正利君）

4月の第5回目のところ、25日のゲラ刷りの確認の日なのですが。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

何日から何日。

○（木村正利君）

23日から、29日に戻ってくる予定なので、22日が、もし早くてもよろしければ、そこら辺の日時変更がしていただければありがたいんですが。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ちよつとこころら辺あるから、小山のほうで交渉できるかどうか疑問だよな。

なので、小山のほうで無理なら、1人欠席ということで、確認を任せていただいてやるかどうか。できるなら20日、できなければ、無理に急がせてもおかしくなると困るので、予定どおり25日で、木村委員のほうは欠席ということ。

○事務局書記（八木裕介君）

では、小山のほうに22日以前の日にか、30日以降の日付で調整できるか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

25日でもいいよ。木村委員は欠席だけど、25日でほかの委員でやるので。

○事務局書記（八木裕介君）

もとの予定のままということで。ありがとうございます。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ほかはよろしいですか。

じゃあ、ページ割について、ご説明お願いします。

○事務局書記（八木裕介君）

では、ページ割について説明させていただきますので、同じフォルダの中のページ割第78号をご覧ください。

基本的には前回の第74号と同じようなつくりで、前回の2月定例会であった第74号と同じものにさせていただきます。

表紙からご説明させていただきます。表紙なんですけど、今回、相良中学校のほうに表紙写真とコメントの提供を依頼します。

2ページから5ページが当初予算の審査ということで4ページ分、大体14件ほどの質疑の掲載を予定しております。また、こちらにつきましては、予算連合審査終了後に、広報の委員会のLINE WORKSのほうに、いつもどおり質疑を一覧のほうまとめさせていただきますので、掲載したい案件の報告依頼をさせていただきます。

6ページなんですけど、2月定例会報告ということで、今回3議案について通告質疑がありまして、総括質疑が3件ございました。

7ページが補正予算連合審査会ということで、今回2月定例会はちょっとボリュームがあるということで、恐らくいつものように5件載せることは厳しいかなということで、4件ほどを想定しております。こちら補正予算も前回同様に質疑一覧をまとめたものを広報のLINE WORKSのほうに載せますので、掲載したい案件の報告をご依頼させていただきます。

8ページ目になりまして、議案の一覧を掲載をします。

9ページ目から17ページ目につきましては、一般質問が9名の議員から出ておりますので、9ページ分確保してあります。

18ページから20ページの上部が特集ページとなりますので、内容についてご協議いただければと思います。主な候補案としまして、仮で今、黄色着色部分に記載させていただいていますが、議運のほうで視察研修に行きましたので、その研修報告、また文教のほうで4回市民会議を行っておりますので、それで1ページ、また総務のほうで大和ハウス工業と勉強会をしましたのでそれか、議会報告会がまた5月にありますので、恐らく今の予

定ですと4回議会報告会を開催する予定で、前半の2回分は、この第78号が発行する5月15日までに終わってしまっているんですが、残り2回については周知ができるかなということで、4年前の令和3年のときも同じように、前半は終わってしまいましたが、後半のということで案内を出しておりました。

また、もう一つなんですが、坂部小学校のお子様たちが議場のほうに来て、いろいろしたので、そのことも載せられるかなというところで、候補案にはなってくるかと思うので、皆さんでご協議いただければと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今説明がありましたけど、何かこの案に、事務局のほうの説明に対して、何かありましたら。

私のほうで、坂部小学校の一緒にちょっと見ましたけど、非常に楽しくやっていたので、そういうのもありかなと、掲載の。いいなと思いますけど。

ほかは何かございますでしょうか。

○（木村正利君）

いろんな要望とか、陳情の関係のところも、やっぱり市民から来たのはちゃんと審査しているというのは、どこかの場面で報告は入れておきたいなと思うんですが、皆さんいかがでしょうか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員。

○（石山和生君）

陳情ですか、請願ですか。

陳情か。

陳情を。

○（谷口恵世君）

それはあれですよ、付託するとか。

○（石山和生君）

まだそれが決まっていない。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局。

○事務局書記（中田 綾君）

これまでの広報の流れといたしますと、請願審査については、毎回というか、1ページ使って審査の流れとか結果とかを報告させていただいてたんですけど、それこそ陳情については、意見書を出すものであったりとか、そうではないものもありましたので、陳情の審査については、多分過去あまり記事にしたことがないかなと思うんですけども、陳情の審査の結果によって、採択となって意見書などを提出した場合は、その意見書の内容を載せたりということはありません。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員。

○（石山和生君）

それはまだ分からないということですよ。確かに採択になるようだったら、記事を載

せたほうがいいなどは、話を聞いていて思いましたけど。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今そういったご意見がありましたので、検討案で一応載せるような形。要するに今候補として議会報告会の周知と、坂部小学校の訪問ということで出ているので、それにどこか変えるかというような。

○（木村正利君）

市民の方が簡単にいろんな要望とか、区を通じて上がったりしたり、市民の方が今こういった陳情をやってくるというのは、市民の権利だと思うんですね。だから、私としたら、こういうのが上がってきたよというのも、議会に上がってきた時点のことは、採択、採択しないにかかわらず、そういうことは告知していかないと、みんななかなか言いづらいんじゃないかなと思っての意見なんですけど、皆さんいかがでしょうか。あえて過去がこうであるということではなくて、市民の方も陳情を出せるんだよということを周知するためにも、私はその在り方というのは思ったものですから。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

極端に言えば、議会と坂部あるけど、3分割で増やす、こういうことがありましたということができるのか、どこか削るのか。

石山委員。

○（石山和生君）

陳情採択しないのも扱うとなると、一定のルールは確実に必要ですよ。というのも、たくさん陳情って、市民以外からの陳情もたくさん来る中で、それも全部取り上げるとなると煩雑になる感じはするんですけど、木村委員が言うような、何か線引きが明確にできるのであればいいかもしれないなどは、話は聞いていて思うけど、今の話で、明確な線引きがどうやってやるのかなという状態です。僕の今の感情は。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

副委員長、どうですか。

○（絹村智昭君）

木村委員のご意見も必要だと思うし、石山委員のもごもつともだと思うので、どこかで線引きというのは、ここのところで、陳情という部分で採択というか、そういうところまで行ったものは上げてもいいんじゃないかなという。全部やったら本当にすごいことになってしまうので、收拾がつかなくなってしまうので、偏りも出てしまったりとかするかと思うので。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

こういうことがありましたというような。

谷口委員。

○（谷口恵世君）

陳情とか請願とかって、最初に議長判断とか議運の判断とかで、郵送によるものはもうこのとかあるので、何をどう載せたいのかという、木村委員の。なので、いつも請願の場合は、この間、例えば中川さんの学校再編の反対の請願が出たとき、反対のあれというか、学教のほうに多分何かを求めることができないので、議会に対して求めるみたいな請願があったときは、広報に1ページでしたね、丸々全部内容も載せてやったと思うんで

すけど、そういうことでいいですか。

○（木村正利君）

私としたら、そこまで踏み込んだことじゃなくて、あくまでも市民が年間こういうようなことで陳情のやり方とか、ある程度、熱心な方は市議会議長宛てに出したりというのはあるんですけど、私としたら、広報委員会なので、年間通してこれぐらい陳情件数がありましたよと、僕はその程度でも、あるよとか、請願があったよというのは、どこかのタイミングでという程度で、今、石山委員がおっしゃられたように、今度それは、要は議会運営委員会のほうで取り上げるかというルール設定のこともありますし、それは今、広報でこういう意見が出たというのは上げていただいて、それは全国のものも上がってきたり、陳情とかって来ると思うんですけど、市内限定の、そうこういう陳情、内容はともかく、こういうものも議会に対して上がってるよというのは、知らしめるタイミングって、私はほしいのかなと思っていたものですから。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今回じゃなくても。

○（木村正利君）

大丈夫です。そういう機会があれば、皆さんがこれから、議会参加という意味では、こういったものも、たまたま今、文教のほうでこういう陳情に対するあれをやっているものですから、議会も皆さんの意見を聞いているよというところを知らしめるためのところで、広報でうまく使い方がというのは、そういう意味で私はお話しさせていただいたんですが、以上です。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今の木村委員の話だと、今後のあれでもいいものですから、とにかくこの進行で行って、ページ、スペースで余裕とか何か浮きそうだったら、今の内容を掲載するような形で考えていただけませんか。

あと続いて。

○事務局書記（八木裕介君）

できれば今回なんですけど、第2回の広報の後というのが、恐らく第3の居場所の内覧会ということで、時間が第2回はちょっとないということで、ある程度決めさせていただければと思うのですが、議員勉強会をここで候補として挙げさせていただいていますが、恐らく文教も前回、勉強会をやるタイミングがあったんですが、基本的には掲載していないものにはなります。全議員で行う議員勉強会などは広報紙に載せるんですが、委員会として行った勉強会は載せることが少ないことから、できれば、僕の意見になってしまうんですが、議会報告会と坂部小学校の訪問で裏面の上部を半分に分けるような形で掲載してはいかがでしょうかというようなもので、18、19ページは議運の視察と文教の市民会議がいかんと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

どうですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

よろしくをお願いします。

○事務局書記（八木裕介君）

あと今回なんですが、議運の視察報告がございますので、広報の中の委員さんということで、お二方、議運の委員さんがいらっしゃいますので、その方に今回2か所、視察に行かれていますと思うので、1個ずつ分けていただくなり、決めていただいて、原稿をいただければと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そういうことで、どっちが担当するか決めて出してください。

そういったことで。

○事務局書記（八木裕介君）

最後になりますが、今回、編集後記、順番に回っていきまして、石山委員のほうにお願いをすることになっております。よろしくお願いします。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

以上でページ割等の割り振りはやりますので、よろしいですか。ほかにご意見ないですか。

〔「なし」と言う者あり〕

3 その他

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ありがとうございました。

〔午前 10時27分 閉会〕